

薬学共用試験センター会務報告（平成26年7月）

7月1日（火） 薬学共用試験運用支援 2014年6月定例会議

出席者

システム検討委員会：飯島史朗、前田定秋

事務局：矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未、原 博

富士通：プロジェクト担当者8名

シンクおよびソフィア：システム開発プロジェクト担当者3名

議題

1. 前回議事録確認
2. マスタースケジュール確認
3. 定例運用作業報告
4. QA対応報告
5. 障害報告

2014-019 7月8日(火) OSCE 実施委員会幹事会

場所：慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス

出席者(敬称略)：

橋詰 勉、入江徹美、木内祐二、岡村 昇、木津純子、中嶋幹郎、

野田幸裕、松下 良

矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未(事務局)

議題

1. 平成26年度準備状況について

2. モデルコアカリキュラム改訂への対応について

2014-020 7月16日(水)第3回広報委員会

出席者(敬称略):

広報委員会

伊藤智夫、石川さと子、佐治木弘尚、矢ノ下良平
オブザーバー

原 博、矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未(事務局)

議題:

1. 英語版ホームページの作成作業
2. アジア薬学部長フォーラムについての報告

以上

2014-021 第2回運営委員会

日時：平成26年7月25日（金）10：30～12：30

場所：薬学共用試験センター

出席者（敬称略）：

委員長・副委員長

奥 直人、石川さと子、石塚忠男、伊藤智夫、入江徹美、太田 茂、
木内祐二、

三田智文、中村明弘、橋詰 勉、山口政俊、湯浅博昭

オブザーバー

丸岡 充、柴田佳太（文部科学省）、

原 博、矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未（事務局）

欠席者：飯島史朗、伊藤 喬、辻 勉、出口芳春、前田定秋、増野匡彦、松野
純男、

宮崎 智、山本恵司

議題：

1. 報告事項

(1) 平成26年度 CBT 体験受験の実施状況

- ・ 運用支援 SE、センター事務局員の CBT 体験受験見学について
- ・ 体験受験時の非常時行動リハーサルについて

(2) CBT 問題の精選作業の進捗状況について

(3) 広報委員会からの報告

- ・ ホームページの英文化作業の進捗について
- ・ 医学教育学会発表について

(4) OSCE ワークショップの開催について

（改定モデルコアカリキュラムに準拠した実務実習を適切に実施するための薬学共用試験 OSCE についてのワークショップ）

(5) OSCE モニター説明会開催について

(6) 新理事会役員について

2. 協議事項

(1) 委員会規則の制定について

(2) CBT 問題公開に向けて

- (3) 改定モデルコアカリキュラムに対応したプール問題の移動について
- (4) CBT 問題数に関するアンケートに向けての提案
- (5) 各委員会の新委員の選出および会議の開催について
- (6) 次回開催日程について（予定：9月19日 15：30～17：30）

2014-022 7月25日(金) 第3回理事会

出席者(敬称略):市川 厚、伊藤智夫、生出泉太郎、太田 茂、奥 直人、
黒澤隆夫、橋詰 勉、堀江利治、前田正知、増野匡彦、
松原和夫、宮崎 智、望月正隆、山口政俊、山元 弘、
湯浅博昭 各理事
角地敏弘、高柳輝夫 各監事

オブザーバー:矢ノ下 玲、中嶋香織、松本有未、原 博(事務局)

新理事長が選出されるまで、望月正隆理事が仮議長として議事進行を執り行った。

1. 出席状況及び定足数の確認
20人中16人出席しており、理事会として成立していることを確認した。
2. 議事録署名人指名
伊藤智夫、望月正隆両理事が指名され、承認された。
3. 審議事項
 - (1) 前回議事録の確認
 - (2) 新理事長の選出
山元 弘前理事長が引き続き理事長職に就任した。
これより、山元新理事長により議事進行が行われた。
4. 報告事項
 - (1) 各委員会構成について
現委員会の委員構成一覧に基づき、各委員長は新年度委員の選出を行うことが要請された。
 - (2) 各委員会活動報告
 - ・ 湯浅総務委員会委員長より、新運営委員会細則が提案され、協議された。その結果、さらに運営委員会において協議し最終案を決定し、次回理事会で承認を受ける方向で進めることとした。
 - ・ 中村 CBT 問題公開ワーキング委員長より、問題公開に向けてのワーキンググループの進捗状況および医・歯の CBT の公開の情報が説明された。さらにワーキングで公開について討議することについての説明があった。
 - ・ 奥運営委員会委員長より、CBT 問題数に関するアンケート案作成の進捗状況が説明された。最終案を次回学長・学部長会議に提案する。

- ・ 橋詰 OSCE 委員会委員長より、改定モデルコアカリキュラムに準拠した実務実習を適切に実施するためのワークショップ開催の提案があった。
- ・ 矢ノ下事務局長より、CBT 体験受験の日程表の説明があった。

以上